



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社  
コード番号 6490 URL <https://www.pillar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 嘉信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤井 正博

TEL 06-7166-8248

定時株主総会開催予定日 2024年6月25日

配当支払開始予定日

2024年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	58,605	20.3	14,206	2.6	15,098	6.8	10,780	3.4
2023年3月期	48,702	19.7	13,842	21.5	14,136	19.6	10,428	25.9

(注) 包括利益 2024年3月期 13,771百万円 (25.8%) 2023年3月期 10,950百万円 (22.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	462.57	—	16.7	17.6	24.2
2023年3月期	442.99	—	18.6	20.6	28.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	98,835	69,949	70.8	3,001.02
2023年3月期	72,492	59,368	81.9	2,548.19

(参考) 自己資本 2024年3月期 69,949百万円 2023年3月期 59,368百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,640	△16,197	5,323	17,878
2023年3月期	6,058	△573	△2,790	22,284

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	54.00	—	79.00	133.00	3,117	30.0	5.6
2024年3月期	—	60.00	—	99.00	159.00	3,706	34.4	5.7
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	125.00		32.4	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 79円00銭 特別配当 10円00銭 100周年記念配当 10円00銭  
なお、詳細は2024年5月13日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	5.8	13,000	△8.5	13,000	△13.9	9,000	△16.5	386.17

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	25,042,406株	2023年3月期	25,042,406株
2024年3月期	1,733,852株	2023年3月期	1,744,163株
2024年3月期	23,305,542株	2023年3月期	23,540,788株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	49,046	8.6	12,121	△2.3	13,810	8.3	10,337	8.4
2023年3月期	45,162	18.2	12,404	23.5	12,752	20.3	9,536	27.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	443.58	—
2023年3月期	405.09	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	87,033	62,039	71.3	2,661.68
2023年3月期	64,031	52,470	81.9	2,252.11

(参考) 自己資本 2024年3月期 62,039百万円 2023年3月期 52,470百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(連結損益計算書) .....	6
(連結包括利益計算書) .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進展し、緩やかな回復基調が続きました。しかし、急激な為替相場の変動、エネルギーや原材料の価格高騰など、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

世界経済においても、総じて緩やかな回復基調にありましたが、世界的な金融引き締め継続、中国経済の減速、ウクライナ情勢の長期化や中東紛争等、地政学リスクは深刻化しており、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは2023年を初年度とする3ヵ年中期経営計画「One2025」を策定し、「企業価値の更なる向上」に向けた変革に取り組み、目標達成に向け各種施策に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は586億5百万円（前期比20.3%増）となり、利益面では、営業利益は142億6百万円（前期比2.6%増）、経常利益は150億98百万円（前期比6.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、107億80百万円（前期比3.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 電子機器関連事業

電子機器関連事業においては、半導体市場は低調に推移したものの受注残の消化や原材料価格の高騰に対して適正価格での販売に努めた結果、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品が増収となったことに加え、免震装置関連製品の販売が大きく伸長しました。

この結果、電子機器関連事業の売上高は404億75百万円（前期比9.9%増）、営業利益は112億55百万円（前期比4.3%減）となりました。

#### 産業機器関連事業

産業機器関連事業では、メカニカルシール製品は精密機械向け製品が低調であったものの、エネルギー市場に関連する補修品の販売が好調でした。また、グランドパッキン・ガスケット製品では石油プラント向け製品の販売が増加しました。さらに株式会社タンケンシールセーコウが当社グループ入りした効果もあり、売上高は前年同期比で大きく増加となりました。

この結果、産業機器関連事業の売上高は180億93百万円（前期比52.8%増）、営業利益は29億28百万円（前期比42.2%増）となりました。

#### その他部門（不動産賃貸業等）

その他部門の売上高は36百万円（前期比4.0%減）、営業利益は23百万円（前期比4.3%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ263億43百万円増加し、988億35百万円となりました。主な増加は建物及び構築物の増加112億71百万円、のれんの増加41億99百万円であります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ157億61百万円増加し、288億86百万円となりました。主な増加は社債の増加100億円と設備関係電子記録債務の増加29億49百万円であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ105億81百万円増加し、699億49百万円となりました。主な増加は利益剰余金の増加75億41百万円であります。

この結果、自己資本比率は70.8%（前連結会計年度は81.9%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フロー56億40百万円（前期は60億58百万円）に対し、投資活動によるキャッシュ・フローは△161億97百万円（前期は△5億73百万円）であり、財務活動によるキャッシュ・フローは53億23百万円（前期は△27億90百万円）となりました。この結果、現金及び現金同等物は44億5百万円減少し、178億78百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは56億40百万円（前期は60億58百万円）となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益150億24百万円（前期は145億87百万円）によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは△161億97百万円（前期は△5億73百万円）となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△51億43百万円（前期は支出なし）、有形及び無形固定資産の取得による支出△114億65百万円（前期は△24億82百万円）によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは53億23百万円（前期は△27億90百万円）となりました。その主な要因は、社債の発行による収入100億円（前期は収入なし）、配当金の支払額△32億38百万円（前期は△27億15百万円）によるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、市況が回復し、成長が予測され活況となる見込みである一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化と中東紛争に起因する地政学リスクの高まり、インフレの高止まりなど、当社においても先行きが不透明な経営環境が想定されます。

このような状況の中、当社グループは創業100周年を迎えます。次の100年も成長し続けるために、2023年4月にスタートした中期経営計画「One2025」を着実に進めるとともに、最終年度（2025年度）の目標達成に向けて各事業で掲げた計画を実行してまいります。

電子機器関連事業においては、DX（デジタルトランスフォーメーション）や生成AIなどの普及で半導体の社会的重要性が急速に高まっています。その生産に使用される設備・インフラで必要不可欠な部品である継手・ポンプを中心とした需要拡大に追従すべく、生産能力を従来比1.8倍まで拡げ、供給責任を果たしてまいります。生産能力拡大は2023年9月に竣工した福知山第2工場の活用を中心とした設備投資を継続することで達成を図ります。さらに、今後大きく成長が見込まれる中国市場を見据え、上海に続く新たな営業拠点を北京に設立しており、グローバル市場の開拓を推進していきます。

産業機器関連事業については、一部の市場で環境志向が高まり脱炭素やカーボンニュートラルの実現が重要なテーマとなっております。これらの市場の要求に合致した高性能シール製品を提供することで、地球環境に貢献するとともに、来るべき水素などの新エネルギー分野において積極的に当社製品を投入し、差別化を図ってまいります。また、昨年度グループ入りした株式会社タンケンシールセーコウとの更なるシナジー効果発現に向け、技術・生産・営業の各分野での協働を進めてまいります。

さらに、イノベーションによる価値創造も実践してまいります。昨年11月に稼働した三田工場イノベーションセンターへの技術力の集約を行うことによる既存リソースの強化に加え、新技術や新製品の開発プロセスにおいて、産学官連携やIT・DX技術を今まで以上に活用し、質・量・スピードを向上させ、各事業分野の技術開発を積極的に進めてまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,458	17,895
受取手形	1,664	1,284
売掛金	9,514	12,593
電子記録債権	5,812	7,379
商品及び製品	943	1,669
仕掛品	2,008	3,053
原材料及び貯蔵品	1,771	3,449
その他	435	1,952
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	44,605	49,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,416	22,687
機械装置及び運搬具(純額)	2,343	3,807
土地	4,614	5,284
建設仮勘定	1,867	1,629
その他(純額)	883	975
有形固定資産合計	21,124	34,384
無形固定資産		
のれん	—	4,199
ソフトウェア	216	390
電話加入権	12	16
その他	12	176
無形固定資産合計	242	4,782
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	9,015
退職給付に係る資産	433	725
繰延税金資産	122	216
その他	289	454
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	6,520	10,394
固定資産合計	27,886	49,561
資産合計	72,492	98,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189	1,378
電子記録債務	278	1,650
短期借入金	1,250	750
1年内返済予定の長期借入金	—	400
未払金	1,442	2,493
未払法人税等	2,321	2,070
賞与引当金	958	1,242
設備関係電子記録債務	188	3,137
その他	863	954
流動負債合計	10,492	14,078
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	100	975
繰延税金負債	158	1,159
退職給付に係る負債	1,556	1,932
資産除去債務	164	102
その他	652	638
固定負債合計	2,631	14,807
負債合計	13,124	28,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,222	5,257
利益剰余金	48,300	55,841
自己株式	△2,562	△2,548
株主資本合計	55,927	63,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,317	4,741
為替換算調整勘定	1,020	1,416
退職給付に係る調整累計額	102	274
その他の包括利益累計額合計	3,441	6,432
純資産合計	59,368	69,949
負債純資産合計	72,492	98,835

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	48,702	58,605
売上原価	27,453	34,413
売上総利益	21,249	24,192
販売費及び一般管理費	7,406	9,985
営業利益	13,842	14,206
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	117	535
仕入割引	45	83
為替差益	100	310
その他	62	72
営業外収益合計	332	1,008
営業外費用		
支払利息	4	19
社債利息	—	26
社債発行費	—	57
自己株式取得費用	13	—
固定資産処分損	18	7
その他	3	6
営業外費用合計	38	117
経常利益	14,136	15,098
特別利益		
固定資産売却益	0	57
投資有価証券売却益	83	115
関係会社清算益	517	—
補助金収入	30	53
特別利益合計	631	226
特別損失		
固定資産売却損	—	36
投資有価証券売却損	2	0
退職給付制度改定損	2	—
関係会社清算損	—	18
工場建替関連費用	175	245
特別損失合計	181	300
税金等調整前当期純利益	14,587	15,024
法人税、住民税及び事業税	4,119	4,392
法人税等調整額	39	△148
法人税等合計	4,159	4,243
当期純利益	10,428	10,780
親会社株主に帰属する当期純利益	10,428	10,780

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	10,428	10,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	2,423
為替換算調整勘定	551	396
退職給付に係る調整額	34	171
その他の包括利益合計	522	2,991
包括利益	10,950	13,771
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,950	13,771

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,966	5,208	41,137	△1,572	49,739
当期変動額					
剰余金の配当			△2,719		△2,719
親会社株主に帰属する当期純利益			10,428		10,428
自己株式の取得				△1,000	△1,000
自己株式の処分		14		10	24
連結範囲の変動			△545		△545
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	14	7,162	△989	6,187
当期末残高	4,966	5,222	48,300	△2,562	55,927

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,381	468	68	2,919	52,658
当期変動額					
剰余金の配当					△2,719
親会社株主に帰属する当期純利益					10,428
自己株式の取得					△1,000
自己株式の処分					24
連結範囲の変動					△545
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△63	551	34	522	522
当期変動額合計	△63	551	34	522	6,709
当期末残高	2,317	1,020	102	3,441	59,368

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,966	5,222	48,300	△2,562	55,927
当期変動額					
剰余金の配当			△3,239		△3,239
親会社株主に帰属する当期純利益			10,780		10,780
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		34		15	49
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	34	7,541	14	7,589
当期末残高	4,966	5,257	55,841	△2,548	63,516

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,317	1,020	102	3,441	59,368
当期変動額					
剰余金の配当					△3,239
親会社株主に帰属する当期純利益					10,780
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					49
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,423	396	171	2,991	2,991
当期変動額合計	2,423	396	171	2,991	10,581
当期末残高	4,741	1,416	274	6,432	69,949

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	14,587	15,024
減価償却費	1,954	2,652
のれん償却額	—	466
賞与引当金の増減額(△は減少)	101	64
退職給付に係る資産負債の増減額	△55	△44
受取利息及び受取配当金	△123	△543
支払利息	4	45
社債発行費	—	57
工場建替関連費用	175	245
固定資産売却損益(△は益)	△0	△20
投資有価証券売却損益(△は益)	△80	△115
関係会社清算損益(△は益)	△517	18
補助金収入	△30	△53
固定資産処分損益(△は益)	18	7
退職給付制度改定損益(△は益)	2	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,762	△2,592
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,089	△2,367
仕入債務の増減額(△は減少)	△551	△983
未払消費税等の増減額(△は減少)	△193	△1,657
その他	228	△331
小計	10,668	9,872
利息及び配当金の受取額	123	542
利息の支払額	△4	△22
補助金の受取額	—	84
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,729	△4,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,058	5,640
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,196	165
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,482	△11,465
有形固定資産の売却による収入	—	96
投資有価証券の取得による支出	△27	—
投資有価証券の売却による収入	190	163
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,143
関係会社の清算による収入	655	—
資産除去債務の履行による支出	△117	△7
その他	12	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573	△16,197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	1,000	△500
長期借入れによる収入	—	1,500
長期借入金の返済による支出	—	△2,325
社債の発行による収入	—	10,000
配当金の支払額	△2,715	△3,238
自己株式の取得による支出	△1,000	△1
その他	△74	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,790	5,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	828
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,740	△4,405
現金及び現金同等物の期首残高	19,809	22,284
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△266	—
現金及び現金同等物の期末残高	22,284	17,878

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、電子機器関連市場、産業機器関連市場について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから、「電子機器関連事業」及び「産業機器関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「電子機器関連事業」は主にピラフロン製品等樹脂関連製品を生産・販売しており、「産業機器関連事業」はシール関連製品等を生産・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,819	11,844	48,664	38	48,702	—	48,702
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,819	11,844	48,664	38	48,702	—	48,702
セグメント利益	11,759	2,059	13,818	24	13,842	—	13,842
セグメント資産	33,558	17,185	50,743	108	50,852	21,640	72,492
その他の項目							
減価償却費	1,317	626	1,943	10	1,954	—	1,954
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	2,781	170	2,951	—	2,951	190	3,141

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額21,640百万円は、事業セグメントに配分していない全社資産27,776百万円及びセグメント間取引消去△6,135百万円であります。全社資産は主に当社の現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産及び投資有価証券であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額190百万円は、主に全社研究開発及び本社管理部門にかかる設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,475	18,093	58,568	36	58,605	—	58,605
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	40,475	18,093	58,568	36	58,605	—	58,605
セグメント利益	11,255	2,928	14,183	23	14,206	—	14,206
セグメント資産	47,886	26,873	74,759	96	74,856	23,978	98,835
その他の項目							
減価償却費	1,802	839	2,642	9	2,652	—	2,652
のれん償却額	—	466	466	—	466	—	466
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	11,185	5,364	16,550	—	16,550	3,121	19,672

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント資産の調整額23,978百万円は、事業セグメントに配分していない全社資産30,485百万円及びセグメント間取引消去△6,506百万円であります。全社資産は主に当社の現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産及び投資有価証券であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,121百万円は、主に全社研究開発及び本社管理部門にかかる設備投資額であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	ピラフロン 製品	メカニカル シール製品	グラウンドパッ キン・ガスケ ット製品	その他	合計
外部顧客への売上高	36,819	7,479	4,365	38	48,702

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
33,537	8,225	6,939	48,702

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)SCREENセミコンダクターソリュー ーションズ	6,469	電子機器関連事業

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	ピラフロン 製品	メカニカル シール製品	グラウンドパッ キン・ガスケ ット製品	その他	合計
外部顧客への売上高	40,475	13,283	4,810	36	58,605

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
41,538	10,197	6,869	58,605

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
(株)SCREENセミコンダクターソリュー ーションズ	7,643	電子機器関連事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	電子機器関連	産業機器関連	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	466	—	—	466
当期末残高	—	4,199	—	—	4,199

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,548.19円	3,001.02円
1株当たり当期純利益	442.99円	462.57円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,428	10,780
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,428	10,780
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,540	23,305

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。